

第18回 統合病理学教室セミナー

かさハラ ひでのり

演者 笠原 秀範 先生

大阪大学 血液・腫瘍内科 学内講師



演題

造血器腫瘍

～がん治療における分子標的と免疫治療の先導

2026年7月6日(月)10:30～

北大医学部 中棟 セミナー室 5-2

要旨

今世紀に入ってから、造血器腫瘍の領域で、分子標的薬や抗体治療、CAR-T細胞療法などの革新的な治療が次々と導入され、がん治療領域全般における先駆的な役割を果たし続けてきた。これらの新規治療は、がん治療の概念を書き換えつつあり、今後さらなる応用と発展が期待される。それらの基本的な原理と実状、および発展の経緯について、血液臨床医の観点から概説する。

責任者: 統合病理学教室 谷口 浩二 (内線5050)

E-mail: path1@med.hokudai.ac.jp